



2023年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年3月14日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <https://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2023年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の業績(2022年11月1日～2023年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	2,764	7.5	122	10.5	116	14.4	207	121.3
2022年10月期第1四半期	2,570	30.3	137		135		93	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	118.43	
2022年10月期第1四半期	53.76	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第1四半期	12,800	4,462	34.9	2,546.55
2022年10月期	12,996	4,322	33.3	2,466.63

(参考)自己資本 2023年10月期第1四半期 4,462百万円 2022年10月期 4,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		40.00	40.00
2023年10月期					
2023年10月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年10月期の業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,063	7.3	286	21.0	295	25.0	433	61.0	246.93
通期	11,999	5.8	513	33.4	507	35.9	574	6.1	327.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期1Q	1,753,818 株	2022年10月期	1,753,818 株
期末自己株式数	2023年10月期1Q	1,262 株	2022年10月期	1,262 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期1Q	1,752,556 株	2022年10月期1Q	1,744,165 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2022年11月1日～2023年1月31日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の制約が、感染拡大防止策の定着やワクチン接種の浸透により緩和され、正常化に向け動き始めました。その一方、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇や急激な円安の進行によって物価上昇圧力が強まるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は当期より五ヵ年を対象とした中期経営計画「NEXT STEP 10」を公表し、最重点施策である「ハウス・エコ事業における鉄骨製作工場認定制度に基づくMグレード認定工場の取得」を念頭に、木材事業福山工場の生産効率改善のための設備投資に着手するなど、中期経営計画の達成に向けた新たなスタートを切りました。

その結果、売上高は27億64百万円(前年同四半期比107.5%)、営業利益は1億22百万円(前年同四半期比89.5%)、経常利益は1億16百万円(前年同四半期比85.6%)、四半期純利益は特別利益として賃貸用不動産等の売却に係る固定資産売却益1億25百万円を計上したことにより2億7百万円(前年同四半期比221.3%)となりました。これにより、純資産は前事業年度末の43億22百万円から44億62百万円となり、自己資本比率は33.3%から34.9%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

(木材事業)

梱包用材等の受注環境は、昨年来のウッドショックの影響による木材価格の高騰から業界全体が活況を呈しておりましたが、その反動減により輸出用梱包全般、物流パレット、電線ドラム及び建築用集成材とも一時的な好転はあるものの長続きはせず、総じて厳しい事業環境で推移いたしました。

原材料につきましては、国産スギ丸太の仕入原価は、引き続き安定的に推移いたしました。一方、ニュージーランド産丸太の仕入原価は、為替相場の急激な円安により期首時点では最高値圏にあったものの、最大消費国である中国において、ゼロコロナ政策によるロックダウンが複数の都市で行われ、経済活動に大きな影響を与えたことにより木材需要が鈍化し、船舶運賃の値下がりとも相まって下落基調に転じるなど、乱高下いたしました。

このような環境のもと、引き続きハイブリッド工場の強みを最大限に生かすため、供給・仕入の双方で安定感のある国産スギの生産比率を約7割まで引き上げを行うとともに、新規・休眠顧客の掘り起こしや新たな販路の開拓によって受注量を確保し、その成果が事業部門の成長戦略としての確固たる道筋を付けることができました。これにより、徐々にではあるものの製品値上げの浸透が進み、原木消化量及び製品出荷量が前年同四半期を約5%それぞれ上回るなど、梱包用材等マーケットの落ち込みの中でも健闘し、収益を押し上げました。

その結果、売上高は20億44百万円(前年同四半期比107.5%)、営業利益は1億61百万円(前年同四半期比137.3%)となりました。

(ハウス・エコ事業)

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間の建設投資につきましても徐々に持ち直しの動きが見られるものの、慢性的な人手不足や資材価格の高騰に伴う建設コストの上昇等により、依然として厳しい事業環境で推移いたしました。

このような環境のもと、受注の確保を最優先課題として掲げ、既存顧客との関係を強化し、提案力・品質等も含めた総合的な競争力の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、今冬の厳しい寒さや天候不順等によって工程の変更を余儀なくされ、引き渡しの時期が第2四半期にずれ込んだことに加え、一部の案件においては価格転嫁の遅れによって工事収支の悪化を招くなど、利益は想定を下回り採算面では厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は5億18百万円(前年同四半期比110.9%)、営業損失は20百万円(前年同四半期は営業利益29百万円)となりました。

(太陽光発電売電事業)

冬場の天候不順による影響を受けたものの、2022年11月は天候に恵まれたこともあり、前年同四半期とおおよそ横ばいの発電量を維持いたしました。また、太陽光発電設備の経年に伴う償却負担が減少いたしました。

なお、当社の保有する太陽光発電所は3県17ヶ所、総発電容量は約13MWとなっており、いずれも順調に発電を続けております。

その結果、売上高は88百万円(前年同四半期比101.2%)、営業利益は45百万円(前年同四半期比112.7%)となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場部門におきましては、2023年1月には積雪によるクローズの影響があったものの、累計来場者数は前年同四半期を5.6%上回るなど、引き続きコース管理の徹底による品質維持・サービスの向上を図り、ゴルファーの快適なプレー環境のサポートに努めてまいりました。

フィットネス部門におきましては、SNSでの告知強化に加え、朝6時からの早朝営業の開始や様々な限定イベントを実施するなど、集客力の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は94百万円(前年同四半期比103.4%)、営業損失は1百万円(前年同四半期は営業利益2百万円)となりました。

(不動産事業)

賃貸マンションの定期的な保守メンテナンスを引き続き行うことで、入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

なお、2022年12月に所有する賃貸マンション4棟のうち1棟を売却いたしました。

その結果、売上高は18百万円(前年同四半期比82.2%)、営業利益は11百万円(前年同四半期比78.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して1億95百万円減少し128億円となりました。その主な要因は仕掛品が2億13百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億19百万円、その他(主に前渡金)が2億37百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して3億35百万円減少し83億37百万円となりました。その主な要因は短期借入金が1億50百万円増加し、未払法人税等が1億78百万円、長期借入金が2億55百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して1億40百万円増加し44億62百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が1億37百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、2022年12月13日に公表の業績予想を本日修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2023年10月期第2四半期(累計)業績予想及び2023年10月期通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,070	683,735
受取手形及び売掛金	1,772,152	1,652,234
電子記録債権	233,363	312,336
完成工事未収入金及び契約資産	157,989	143,341
リース未収入金	1,869,110	1,913,645
商品及び製品	136,597	156,818
仕掛品	84,646	297,989
未成工事支出金	92,581	171,925
原材料及び貯蔵品	487,093	560,380
その他	297,239	59,724
貸倒引当金	△1,947	△1,897
流動資産合計	5,925,899	5,950,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,382,921	1,327,147
機械装置及び運搬具(純額)	2,175,554	2,067,519
土地	3,061,501	2,993,927
建設仮勘定	—	11,000
その他(純額)	278,647	261,320
有形固定資産合計	6,898,624	6,660,915
無形固定資産	17,315	15,401
投資その他の資産		
投資有価証券	91,707	96,241
その他	66,783	82,021
貸倒引当金	△4,006	△4,113
投資その他の資産合計	154,483	174,149
固定資産合計	7,070,423	6,850,466
資産合計	12,996,323	12,800,702

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,820	775,148
工事未払金	226,597	331,817
短期借入金	550,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,125,926	1,091,241
未払法人税等	234,903	56,550
賞与引当金	86,475	40,832
完成工事補償引当金	44	35
その他	784,943	778,958
流動負債合計	3,838,710	3,774,584
固定負債		
長期借入金	4,450,060	4,194,069
退職給付引当金	134,284	131,571
資産除去債務	8,025	8,040
その他	242,336	229,469
固定負債合計	4,834,705	4,563,150
負債合計	8,673,415	8,337,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	695,594	695,594
資本剰余金	523,594	523,594
利益剰余金	3,084,753	3,222,211
自己株式	△1,182	△1,182
株主資本合計	4,302,760	4,440,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,305	22,791
繰延ヘッジ損益	△158	△43
評価・換算差額等合計	20,146	22,748
純資産合計	4,322,907	4,462,966
負債純資産合計	12,996,323	12,800,702

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年11月1日 至2022年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自2022年11月1日 至2023年1月31日)
売上高	2,570,694	2,764,693
売上原価	2,109,476	2,288,509
売上総利益	461,217	476,184
販売費及び一般管理費	323,967	353,395
営業利益	137,250	122,788
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	500	649
仕入割引	491	98
受取賃貸料	1,200	1,200
協賛金収入	—	909
その他	17,369	745
営業外収益合計	19,561	3,603
営業外費用		
支払利息	11,336	9,670
その他	9,823	656
営業外費用合計	21,159	10,327
経常利益	135,652	116,065
特別利益		
固定資産売却益	297	125,634
特別利益合計	297	125,634
特別損失		
減損損失	—	72
特別損失合計	—	72
税引前四半期純利益	135,950	241,627
法人税、住民税及び事業税	17,343	50,392
法人税等調整額	24,835	△16,326
法人税等合計	42,178	34,066
四半期純利益	93,771	207,560

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,901,797	468,041	87,248	91,319	22,286	2,570,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,901,797	468,041	87,248	91,319	22,286	2,570,694
セグメント利益	117,602	29,058	40,137	2,918	15,005	204,722

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	204,722
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△67,471
四半期損益計算書の営業利益	137,250

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,044,861	518,864	88,261	94,380	18,326	2,764,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,044,861	518,864	88,261	94,380	18,326	2,764,693
セグメント利益又は損失(△)	161,467	△20,678	45,234	△1,167	11,836	196,692

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	196,692
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△73,903
四半期損益計算書の営業利益	122,788

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	木材事業	ハウス・ エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	計		
減損損失	—	—	—	—	72	72	—	72